

# 土地利用型作物の省力化技術の開発と実証

## ○課題化の背景、目的

- ・ 農業者の減少、高齢化による、作業の効率化の必要性
- ・ 農業分野におけるICT、ロボット技術の急速な発展

→作業の効率化による経営規模拡大、経験と技術のスムーズな移転などにより、省力型大規模経営を支援

## ○取組の概要

- ・ (株)オプティム、佐賀大学、佐賀県の3者協定
- ・ ドローンの活用
- ・ ウェアラブル（身体装着型端末）の活用

## ○期待される成果

- ・ 水稻、露地野菜を組み合わせた省力技術の開発により、大規模経営を支援
- ・ 中山間地域の耕作放棄地拡大を防止するなど、維持可能な中山間地域農業を支援

## 具体的な内容

### ICTによる省力技術の実証

- 1) 水位センサーと自動制御システムの開発による水管理の省力化
- 2) 作業等の遠隔指示による技術伝達の効率化



### ロボット等による省力技術の実証

- 1) マルチコプターを用いた圃場のモニタリング
- 2) 畦畔除草ロボットによる除草作業の省力化
- 3) アシストスーツ等を利用した重量作物の収穫作業の軽労化、効率化



マルチコプター



畦畔除草ロボット



アシストスーツ